

第24回 ゴルフ5レディスプロゴルフトーナメント

20mミラクルパットを沈め逃げ切り!
申ジエ・浅井咲希のミラクルは僅か届かず!

ラウンド毎の上位変遷

↓予選1R 9/6 Fri.

順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
1	-9	浅井 咲希	63	32	31
2T	-8	日井 麗香	64	33	31
		イ ミニョン	64	32	32
		申 ジエ	64	32	32
5	-6	黄 アルム	66	32	34
6T	-5	武尾 咲希	67	33	34
		小野 祐夢	67	33	34
		岡山 絵里	67	33	34
		永峰 咲希	67	35	32
		新垣 比菜	67	32	35
		イ ナリ	67	34	33
		吉川 桃	67	33	34
		瀬戸 瑞希	67	34	33
14T	-4	佐伯 三貴	68	31	37
		アン ソンジュ	68	37	31
		ほか6名			

↓予選2R 9/7 Sat.

順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
1T	-12	申 ジエ	68	32	36
		イ ミニョン	68	33	35
3	-11	浅井 咲希	70	35	35
4	-10	イ ナリ	67	35	32
5	-9	高橋 彩華	65	33	32
6T	-8	竹内 美雪	68	35	33
		アン ソンジュ	68	34	34
		岡山 絵里	69	35	34
9T	-7	ジョン ジェク	67	35	32
		濱田 美優	68	34	34
		ユン チェヨン	68	35	33
		工藤 遥加	68	32	36
		小野 祐夢	70	35	35
		黄 アルム	71	35	36
15T	-6	松田 鈴英	66	32	34
		ほか4名			
43T	-2	大里 桃子	68	37	31

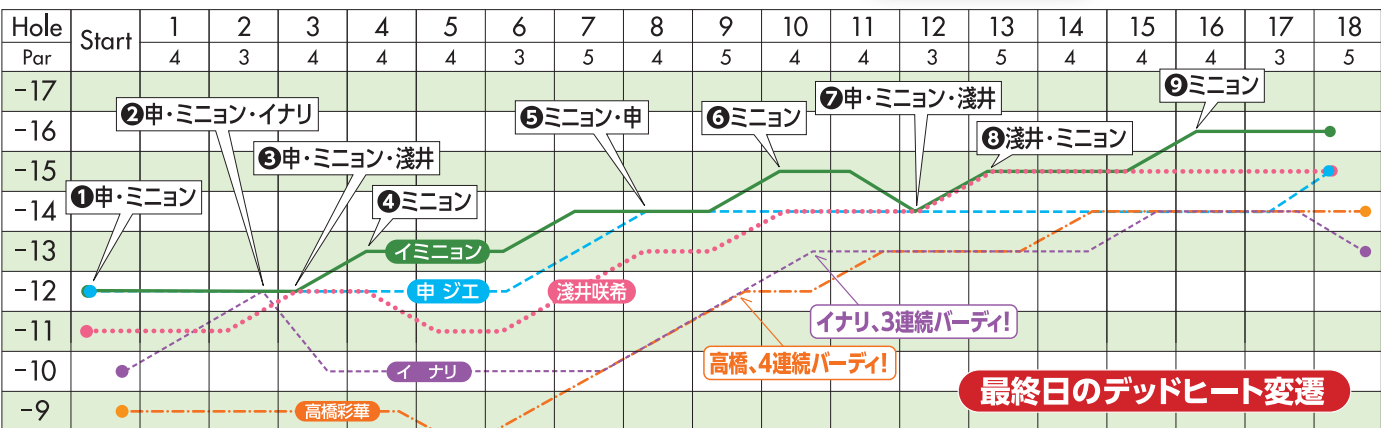
↓決勝R 9/8 Sun.

順位	A.P.	選手名	SCORE	OUT	IN
1	-16	イ ミニョン	68	34	34
2T	-15	浅井 咲希	68	34	34
		申 ジエ	69	34	35
4	-14	高橋 彩華	67	33	34
5T	-13	岡山 絵里	67	33	34
		イ ナリ	69	34	35
7T	-11	武尾 咲希	65	34	31
		森田 遥	67	34	33
		黄 アルム	68	34	34
		アン ソンジュ	69	35	34
11T	-10	小野 祐夢	69	34	35
		竹内 美雪	70	36	34
13T	-9	穴井 詩	66	31	35
		永峰 咲希	69	35	34
		工藤 遥加	70	36	34
32T	-5	野澤 真央	69	38	31

● Today's Best ● Today's Half Best

自身初の
賞金女王へ!
狼煙の今季2勝目

【イ ミニョン】韓国出身、27歳。'10年韓国ツアーデビュー。'11年から6年間で4勝、賞金ランキング最高位は7位。'17年から日本ツアーに参戦すると、5戦目のヤマハレディスで初V、賞金ランキングも2位に。昨季は開幕戦のみの1勝に終わったが、今季はこれで2勝目、TOP10内(21試合中)13回はNo.1という安定感。賞金女王のタイトルも見えてきた。



最終日のデッドヒート変遷



▲最終日は、スタートから6連続バー、9番から9連続バーと乗りきれなかった申ジエだが、奇跡のプレーオフを懸けた最終18番サードショットはギャラリーを大いに湧かせた。

打差で追う立場に。

そして16番でドラマは

九月六日から三日間、第24回ゴルフ5レディスが初開催となるゴルフ5カントリーサニーフィールドで開催された。今季活躍が加速する黄金世代の上位四人、浅野・原・河本・勝が欠場する中、負けてはならない小祝さくら、浅井咲希、新垣比菜、大里桃子ら十三人の黄金世代、賞金女王レディーをリードする申ジエをはじめ、イミニョン、アンソングジュら韓国勢十一人が参戦。注目は高まり、初日から大勢のギャラリーが集まった。

初日、単独トップに立ったのは二週前に初優勝を挙げたばかりの浅井咲希だった。圧巻の10バーディーを奪ったの自己ベストの63。一打差の二位タイには、これまで黄金世代の日井麗香と、イミニョンと申ジエという強豪韓国勢。

二日目、今度は黄金世代の高橋彩華がこの日のベストスコアと自己ベスト65をマークし、首位と三打差の単独五位に急浮上。ノーボギーながら二つしか伸ばせなかった浅井は、申とミニョンを一打差で追う立場に。

迎えた最終日、スタートから連続バーディーを奪い首位に並んだのはゴルフ5所属のイナリだった。イナリは3番で躓くが、今度は浅井が3番で伸ばし三人が並ぶ。すると続く四番でミニョンが単独首位に。浅井が5番で落とし、7番は三人が揃ってバーディー、8番で申と浅井が連続バーディーとし申とミニョンが並ぶ。前半を終えた時点で、6番から四連続バーディーの高橋彩華と8番から三連続バーディーのイナリが浅井と共に一打差に迫り、白熱感は増長する。

後半、10番で浅井とミニョンがバーディー、15アンダーとしたミニョンがこの日二度目の単独首位に。しかし、12番ショットでミニョンが落とし、最終組の三人が再び三つ巴状態に。続く13番ロングでミニョンと浅井が抜け出せば、前を行く高橋も伸ばし再び一打差に迫って予測不能。



▲最終組で韓国の強者二人に実力差は及ばないと謙虚だった黄金世代の浅井咲希。最後のショートしたパットを猛反省したが、引けをとらない堂々のプレーで15アンダー2位タイ。今後のさらなる活躍に期待!!

逆転負けだったゆえ、普段はキャップを目深にかぶるクールなミニョンだが、最高の笑顔があふれた。優勝の瞬間を見届けようとして18番グリーンを囲ったギャラリーの喝采に包まれ、暑い熱い大会は幕を閉じた。

大会3日間、たくさんのご来場・ご声援をいただきまして、誠に有難うございました。
今後とも「ゴルフ5」ならびに「ゴルフ5レディス」をよろしくお願いいたします。